福岡県高等学校登山大会　予報第１号

福岡県高等学校体育連盟登山専門部

１　大会山域について

大根地山（おおねち）は標高６５１．９ｍ。山頂には大根地神社・稲荷大明神が祭られている。神功皇后が古処山を本拠にしていた豪族・羽白熊鷲（はじろくまわし）を討ちに行く際に登り，天神七代・地神五代の神々を祭り，勝利を祈ったのが始まり。その後，須佐之男命（すさのおのみこと），大市姫命（おおいちひめのみこと）を合祀し，雲閣稲荷大明神（うんかくいなり）になったとされている。

宝満山は，今回の大会コースではすぐ脇をかすめて山頂を通らないが，古くから霊峰として崇められ，山頂の巨岩上に竈門神社の上宮があり，全山花崗岩で，英彦山，脊振山と並ぶ修験道の霊峰である。山頂の眺望は抜群で視界がよければ英彦山・古処山・馬見山・くじゅう連山・雲仙岳まで遠望できる。宝満山は別名で，筑紫野市の二日市方面から望むと「笠」の形に見えることから「御笠山」とも呼ばれ，ふもとには日本書紀にも記される三笠の森の史跡がある。また，九合目にある竈門岩，もしくはカマドのような形をしていて，常に雲霧が絶えず，それがちょうどカマドで煮炊きをして煙が立ち上っているように見えることから「竈門山」といわれる。宝満山を水源とする河川には博多湾に流れる御笠川，多々良川に合流して博多湾に流れる宇美川，筑後川に合流し有明海に流れる宝満川がある。

仏頂山は，標高８６８．６ｍ。山頂には石の祠があり，中には宝満山を開山したと云われている心蓮上人の像が安置されている。

三郡山は，福岡県の中央を南北に貫く三郡山地の最高峰。糟屋郡宇美町，筑紫野市，飯塚市の境界に位置する標高９３５．７ｍの山。もとは糟屋郡，筑紫郡，嘉穂郡の三郡の境であったことからこの山名となっている。山頂には航空監視レーダードームがある。

今回の大会コース中，１日目の大根地神社からゴールまで，２日目の中宮からゴールまでは，ほぼ九州自然歩道に指定されている。

２．大会コースのルートガイド

<u>太字下線</u>は主要地点

○１日目

<u>竜岩自然の家</u>では，幕営地すぐ横の広場よりスタートする。

スタート地点

大根地山のふもとの車道を西へしばらく進むと，左へ田の上の縁に上がるように進む。

車道より左の道に入る

この道沿いには左側は竹林，右側は田があるが，その右側には電気柵が設置してあり，誤って触れないように歩こう。田が終わったところにある用水路にかかった橋を渡り，四つ角のようになっているが，まっすぐ山の中へ登っていく道を進む。これより登りが本格化する。

用水路に架かった橋を渡り，まっすぐ登る

登りに入ると，周りはスギ，ヒノキの樹林帯で，林床にはアオキなどが生えている。
高圧線の鉄塔脇を通り，笹尾山へと伸びている尾根が右に伸びている分岐はまっすぐ進む。さらにしばらく登ると，**４７６三角点**に着く。正確には標高４７６．５ｍの四等三角点である。このあたりの植生もスギ，ヒノキの樹林帯で変化に乏しい。
時折下りのある尾根道をさらに登っていくと，スギ・ヒノキだけでなく，アカガシ，タブ，ヤブツバキ，カラスザンショウが点在している雑木林も出てくる。そうなると山頂も近い。大根地山直前にウリハダカエデの群生があるので，大会時期は紅葉で楽しませてくれると期待したい。

大根地山山頂

大根地山山頂に着いたら，チェックポイントでチェックを受けよう。
山頂は芝生広場のようになっており，ツゲ，アブラチャンなどが見られる。南側に耳納連山が良く見え，西側に目を移すと天気が良ければ有明海の先に雲仙普賢岳が見える。
北側には２日目に登山する宝満山から三郡山の縦走路がはっきりと見える。
下りもなおチーム行動であるが，慌てず安全に下りていこう。
リョウブ，エゴノキなどの雑木林の中を下っていくと，反射板のついた鉄塔が左側に現れる。道が広くなり，左側にトタン小屋を通りすぎると，左右に赤い鳥居がある分岐に出る。右の方は冷水峠の方に下ってしまうため，

左の方に進む

ここは左の方に進み，老朽化の進んだ建物横を通り過ぎると，御手水のある所がある。

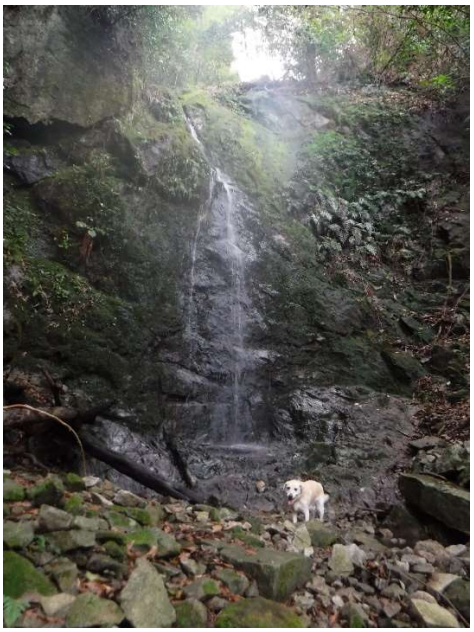
御手水のある所

ここは，大根地神社のお社のすぐ下で，お社の方に行っても，下の段を通っても構わない。
ただし，お社の方へ進んだときは，他の参拝者に気を配ること。
どちらを通ったとしても，このすぐ先が，大根地神社である。

大根地神社　3つの矢印のいずれかを通る

大根地神社下で再び合流

参道脇にはマムシグサ，シシガシラなどが見られる。お社を過ぎて，水場を通過するとトラバースしながら進んで行く。ヤブツバキとアカガシが特に目立つ。鎖場を越えしばらく進むと，扇滝の前を通過する。



扇滝

このあたりまでは雑木林の中であるが，もう少し下るとスギの樹林帯に変化していく。
この下りの道は，「大会山域について」でも記載していた通り，九州自然歩道なので道標がしっかりしているので，確認しながらゴールへと向かおう。

林道を横切る

さらにそのまま下っていくと右側に植林されたばかりのスギの幼木地帯があり，道のそばにはマツカゼソウが群生している。
三叉路で林道に合流すると，宝満川を右側に見ながら進んで行く。
ゲートの左脇を抜け，田んぼの中のコンクリート舗装の道を進めばゴールの竜岩自然の家も近い。

１日目ゴール

○２日目

竜岩自然の家では，幕営地すぐ横の広場よりスタートするのは１日目と同じだが，２日目は隊行動である。遅れないように集合しよう。

大根地山のふもとの車道を，県道に出会うまで，西へ進む。

県道では，歩道がなくなる部分があるので，１列になって左端を歩こう。

注意！歩道がなくなる

本道寺の交差点で，押しボタン式信号を渡り，集落の方へ登っていく。ほどなく，三叉路があり，「宝満登山道」と書かれた石柱の通り左へ進む。田やビニールハウスの中の道を進んでいくと，右側に祠がある。また，時折分岐があったりするが，一番メインと思われる道を進んでいく。民家がなくなるとスギの植林と林床にはウラジロが点在している。

なおも進むと，**堤谷登山口**の三叉路に着く。

堤谷登山口で左へ曲がる

ここでは左に曲がり，トラバース道となる。ヒノキの樹林帯を抜け，アスファルトの幾分下り坂を行くと，ササ，ハゼ，スギなどが見られる。猫谷川登山口を過ぎるとアスファルトが終わり，スギの樹林帯に入り，川を渡るとカーブミラーのすぐ先に**登山口**がある。

この登山口を右に曲がって入り，滑りやすい赤土の道を進む。この辺りは，大行事原と呼ばれるところで，現在ではクヌギの林となっている。高圧線の鉄塔をくぐるとすぐに分岐があるが，ここは左に向かう。ヒノキ，スギの樹林帯をトラバース気味に登っていく。これを登りきると，**鳥越峠**に着く。

鳥越峠にはベンチがあり，休憩にもってこいである。四つ角になっており，直進すると，宝満山の表参道方面，左に行くと愛嶽（おだけ）山を経て竈門神社方面となっている。これを今回は右に進む。この道は行者道とも呼ばれている，急登の尾根道である。途中，反射板２枚が向かい合っているところや，花崗岩の露岩がある。植生はスギの樹林帯で林床にはアオキなどが見られる。登りきって，シャクナゲの間を抜けると，**中宮跡**※に出る。

中宮跡

中宮跡先ですぐに３方向に分かれている分岐があるので，右の道へツクシシャクナゲ，シロモジ，アカガシなどを見ながら進む。途中，トラバースから登りになる辺りに水場があるが，周辺は土砂崩れの跡の修復のための土嚢，パイプやブルーシートが見られる。ここから登り切り，石垣の階段を上がると**宝満山キャンプセンター**である。
宝満山キャンプセンターから少し登ると，分岐があり，目の前に宝満山の岩場が見えるが，右に鋭角に曲がる。そして，三郡山へと続く尾根を縦走していく。ブナ，モミやツルシキミの生えている縦走路を歩いていく。

仏頂山手前の分岐　道標を確認！

この尾根道では，左右に下る分岐がいくつも出てくるが，メインとなる縦走路をたどること。上の写真からほんの少しで，**仏頂山**につく。

仏頂山

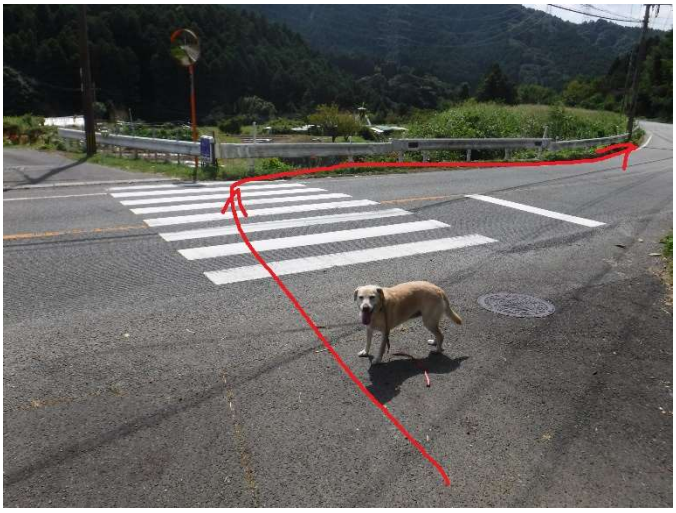
ここから先も，尾根道を忠実にたどっていく。目立つ分岐としては左側が多く，河原谷コース入口，難所ヶ滝入口，頭巾山入口で，いずれも昭和の森へと続いている。
植生としては，ブナ，モミ，アカシデ，イヌシデなどの大木の下に，タンナサワフタギ，ナガバモミジイチゴやシシガシラ，ツゲなども見られる。
天の泉と呼ばれる水場を右下に見ながら，なおも登っていくと，アスファルト道に出て，時計回りに回り込むように，**三郡山**山頂に登ることができる。

三郡山は三郡山地の最高峰であるため，西は福岡市や糸島市の市街地と脊振山地，北は玄界灘，東は福智山山系，南は筑後川や耳納連山が見渡せる。山頂周辺にはミツバツツジが点在しており，春にはきれいな花が咲いている。
三郡山からの下りは，車道が九州自然歩道になっているが，途中２か所ショートカットできる山道がついているので，これを進もう。ただし，写真のように１ヶ所，ガードレールが邪魔しているので，越えるか潜(くぐ)るかしないといけないので気を付けていこう。

ガードレールを越えるか潜る

県道よりわき道に入る

このあたりは，シロモジが多い。
一度，車道に出る地点では，露岩があり，ワイヤーなども出ているので，気を付けて進んでほしい。２か所目の車道に出る地点が，**白糸ノ滝分岐**である。ここからは車道を歩いていくことになる。ハゼ，カラスザンショウなどを見ながら歩いていき，ゲートの脇を通り抜ける。なおも下っていくと，県道に出る直前で**射撃場入り口**となる。極力，車通りの多い県道を歩かないルートを選択しているので，地図を確認してもらいたい。ただ，どうしても県道を歩かなくてはならない部分があるので，１列で気を付けて歩いてもらいたい。特に，次の２枚の写真の間はその部分にあたる。



横断歩道を渡り，左側を歩く

上の写真のところで，県道に別れを告げたらゴールの**竜岩自然の家**も近い。

※　要項では「中宮」になっているが，主要地点名としては「中宮跡」とする。

3　荒天対策

11 月 2 日に起こった場合

	地震（震度 5 弱以上）	台風・気象警報以上	大雨注意報 雷注意報発表時
11 月 2 日	大会中止 早期帰還準備	宿泊所待機 行動中止	通常行動
11 月 3 日	帰宅完了	通常行動	通常行動

11 月 3 日に起こった場合

	地震（震度 5 弱以上）	台風・気象警報以上	大雨注意報 雷注意報発表時
11 月 3 日	大会中止 早期帰還準備	行動中止 早期帰還準備	通常行動